

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	京都府	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	古典の日制定記「古典」普及啓発事業	【計画の改善時期】	
4 実施計画期間	平成 28 年度	～	平成 32 年度
5 実施計画の概要			
<p>■古典の日制定記念「古典」普及啓発事業</p> <p>国民が優れた古典に親しむことを通じて、心豊かな国民生活と文化的に活力ある社会を実現するため、京都から働きかけて平成24年に法制化が実現した「古典の日」を、国や他の地方公共団体、関係団体等と連携して、一層普及させていく必要がある。また、文化庁の京都移転を契機に、「古典の日」に係る普及啓発を全国的な取組に移行していくことも重要となっている。そのため、古典の魅力を発信する「古典の日フォーラム」、古典に親しむ人の裾野を広げる「古典の日朗読コンテスト」とともに、関係団体の広域的なネットワーク化等に取り組む。</p> <p>各年度の取組においては、その年度のトピックと古典を連動させて古典の効果的な普及を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国際的に知名度の高い「源氏物語」を中心に日本文化を海外に発信し、外国人の日本文化への理解を深め、2020年に多くの外国人の来日に繋げる。</p> <p>平成28年度は、2020年に向けた取組の端緒として、「源氏物語」をメインテーマにフォーラムと朗読コンテストを実施する。</p> <p>平成29年度は、古典の日法制化5周年に合わせて11月を「古典の日月間」とし、フォーラム、朗読コンテスト、大茶会、連続講座を実施、多彩なチャンネルで古典の普及を図る。特に、「東アジア文化都市2017京都」と連動して、朗読コンテストと大茶会において、日中韓の詩文朗読と茶の作法を通じた国際的な古典文化の理解を深める。また、HP上に「古典の広場」を開設し、全国の関係機関・団体を登録してネットワークを広げ、参加団体の意見交換の場を設けるほか、このネットワークを生かした広域的な連携事業等に繋げ、全国的に古典の普及啓発を進めていく。</p> <p>平成30年度は、明治150年に合わせて、明治の文学等を探り上げてフォーラム、朗読コンテスト、連続講座を実施。また、平安文化をテーマに文化関係団体、企業等をが連携して文化、地域、産業の振興に取り組むプラットフォームを創設する。</p> <p>平成31、32年度は、オリンピック・パラリンピックに合わせて、源氏物語等を活用した国内外への古典の普及と発信に取り組むとともに、多くの外国人が来日し、日本文化を体感できる取組を実施する。また、31年度は国際博物館会議京都大会と古典を結びつけた取組も検討する。</p>			
6 実施体制			
<p>実施主体は古典の日推進委員会</p> <p>源氏物語千年紀委員会を継承して、平成21年度に京都府、京都市、宇治市及び京都商工会議所等で組織され、オール京都体制で古典に係る普及啓発事業を強力に推進できる体制である。</p> <p>事務局は、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー。</p> <p>京都府では、文化政策課及び文化芸術振興課が調整・指導等を実施。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 19,683 千円	平成30年度申請額： 3,743 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>多くの古典のゆかりの地であり、「古典の日」の法制化を働きかけた京都から、全国の模範となるフォーラム等を開催することにより、京都府内はもとより、全国に向けて古典の魅力と価値を発信するとともに、全国の自治体等に対して古典の普及啓発事業の実施を促すことができる。</p> <p>法制化された「古典の日」を多くの人に認知してもらうための取組が不可欠であり、毎年11月1日の「古典の日フォーラム」開催が、古典の魅力の発信に加え、「古典の日」の周知と定着に繋がる。</p> <p>朗読コンテストは、応募に際して古典の内容を深く理解し、それを表現する練習を繰り返す必要があり、古典に深く親しむ人の増加に繋がる。特に学校単位での参加により、次世代への古典の普及にも繋がる。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック、東アジア文化都市2017京都、国際博物館会議京都大会等の大きなイベントと古典を結びつけた取組は、多くの人が新たな観点から古典に親しむことに繋がる。</p> <p>また、「古典の広場」等による関係団体の広域的なネットワーク化は、情報交換により取組のノウハウや効果的な取組を各地に広げていくとともに、地域・分野を越えた連携による広域的な古典の普及や、古典を活用して地域・産業を振興する新たな取組の創出に繋がる。</p> <p>【30年度目標値】「古典の広場」の登録数 全国60団体      全国の古典普及団体との意見交換や連携創出の場となる「古典の広場」を29年度に立ち上げ      (30年3月末時点登録数 65団体)</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

京都府としての「歴史文化基本構想」の策定及び「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画は現時点では未定。（府内市町村は別途個別に計画）

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	京都府 文化スポーツ部 文化政策課・文化芸術振興課
-----------------	---------------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く） <span style="float: right;">（具体的な指標は次のとおり）</span>					
具体的な指標 1 :	「古典の広場」の登録数 ※全国各地の様々な団体が実施している古典に関わる事業の情報発信や自由な意見交換の場として古典の日推進委員会HP場に設置。「古典の広場」を活用し、各府県が独自の古典文化の活性化を図っていくことを目指す。			関連事業:	事業①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 0 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 (単位)					
設定根拠 1 :	各都道府県で2団体以上を目標に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0 団体	65 団体	団体	団体	団体	団体	団体
0%	54%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 <span style="float: right;">（具体的な指標は次のとおり）</span>					
具体的な指標 2 :	京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用され（引き継がれ）ていると思う人の割合（府民意識調査）			関連事業:	事業①	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 11 % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 90 %					
設定根拠 2 :	過去5年間での最高値88.7%（平成26年）を上回るよう設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
82 %	81 %	%	%	%	%	%
90%	89%					

**様式 1 - 1 別紙②**

**8 (2) 実施事業の概要 別紙**

<b>事業①：</b>	古典の日制定記念「古典」普及啓発事業	<b>実施団体：</b>	古典の日推進委員会			
<b>事業区分：</b>	普及啓発	<b>事業期間：</b>	平成 28 年度	～	平成 32 年度	
<b>事業概要：</b>	<p>法制化が実現した「古典の日」を普及し、古典に親しむ人を増やすため、フォーラムや朗読コンテストを毎年度開催する。また、「東アジア文化都市2017京都」に合わせて日中韓の茶文化に触れる大茶会など、各年度の大きなイベントと古典を結びつけた古典の普及と、2020年に向けて「源氏物語」を核に日本文化を世界に発信する取組も実施する。さらに、HP上の「古典の広場」等により関係団体のネットワーク化を進め、地域・分野を越えた連携による古典の普及や地域・産業振興の取組に繋げる。</p>					
<b>評価指標区分：</b>	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
<b>具体的な指標：</b>	<p>「古典の広場」の登録数          ※全国各地の様々な団体が実施している古典に関わる事業の情報発信や自由な意見交換の場として古典の日推進委員会HP場に設置。「古典の広場」を活用し、各府県が独自の古典文化の活性化を図っていくことを目指す。</p>					
<b>目標値：</b>	【現状値】 平成 28 年度 0 団体		⇒	【目標値】 平成 32 年度 120 団体		
<b>進捗状況：</b>	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0 団体	65 団体	団体	団体	団体	団体	
0%	54%					